



# 取扱説明書

## アルミ巻車セット

### MLR100L

この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐ重要な注意事項と本製品の取扱方法が指示されています。
- 本製品を使用する前に本取扱説明書を熟読し、十分理解された上で、ご使用ください。
- 本取扱説明書は必要な時にすぐに参照できるよう、大切に保管してください。
- 本取扱説明書が損傷や紛失により読めなくなった場合は、ご購入の販売店からお買い上げください。

#### お知らせ

- 本製品は日本国内専用です。日本国内のみでご使用ください。

# はじめに

- 本製品は健康な 16 歳以上の人が、農薬・消毒薬・殺虫剤などの散布、散水及び牧舎、鶏舎、農機具、壁面などの洗浄を行う事を目的とした製品です。
- 目的以外の作業への使用や改造を行った場合は、保証の対象外となります。上記に示した以外での作業や改造が原因での事故に関して、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様変更などにより、ご購入の製品と本書の内容が一致しない場合がございます。
- 本取扱説明書は一般使用者および業務で本製品を使用される方、現場責任者を対象としています。
- 関係法令(廃棄物処理法、農薬取締法)を遵守してください。

# 安全に作業するために

## ■ 使用目的

本製品は健康な 16 歳以上の方が、次のような洗浄作業を行う事を目的とした製品です。けがや本製品の破損のおそれがあるため、目的以外の作業へ使用しないでください。

- 土木、建築機械などの洗浄。
- 牧舎、鶏舎及び農作物、農機具の洗浄。
- 牧舎、鶏舎及び都市衛生用の殺虫液の散布。
- 建築構造物の壁面などの洗浄。
- 水田作物、一般畑作物への散水。
- 雑草に対する除草剤の散布。
- 水田作物、一般畑作物、果樹、桑、樹木の病害虫に対する薬剤散布。

## ■ 警告表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** … もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るもの。

 **警告** … その警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るおそれがあるもの。

 **注意** … その警告に従わなかった場合、けがに至るおそれがあるもの。および本製品や周辺の物的損害が発生するおそれがあるもの。

## ■ その他の表示について

**お知らせ** … 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項。

**お願い** …… 必ず実施していただきたい推奨事項。

## ■ シンボルマークについて

本製品および取扱説明書に下記のシンボルマークを掲載しています。このシンボルマークの意味をご理解の上で、ご使用ください。

 製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する表示マーク。

 製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに関する注意事項であることを示す表示マーク。

 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する表示マーク。

本製品は健康な 16 歳以上の人、農薬・消毒薬・殺虫剤などの散布、散水及び牧舎、鶏舎、農機具、壁面などの洗浄を行う事を目的とした製品です。取扱方法を誤ると事故を招きます。下記の注意事項を必ず守ってください。

## ■ 本体に関する注意事項

 <b>危 険</b>	
	<p>下記の項目を必ず守ってください。 守らないと火災や事故に至ります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 強酸性・強アルカリ性の液体、化学溶剤、塗料、シンナー、ガソリン、灯油、ベンジン、アルコール、その他引火性の高い液体や人体に有害な薬剤などを使用しないでください。</li></ul>

 <b>警 告</b>	
	<p><b>使用目的以外の使用禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品は、農薬・消毒薬・殺虫剤などの散布、散水及び牧舎、鶏舎、農機具、壁面などの洗浄を行う事を目的とした製品です。目的以外の作業には使用しないでください。目的以外に使用すると、安全性を損なうおそれがあります。また、本製品が破損するおそれもあります。</li></ul>
	<p><b>改造禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品の改造は絶対にしないでください。 安全性を損ない事故や重傷に至るおそれがあります。 製品本来の性能が発揮できなくなるのみならず、非常に危険です。部品の交換をする場合は、必ず指定の純正部品を使用して正規の位置に確実に取り付けてください。</li></ul>
	<p><b>部品取り禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品から組立部品や部品単体を取り外して、他の製品で使用しないでください。 他の製品に使用すると本来の性能が発揮できないだけでなく、使用した製品の破損、事故や重傷に至るおそれがあります。</li></ul>
	<p><b>使用者に関する注意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 体調の悪いとき、酒類を飲んだときは作業しないでください。 正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。</li><li>■ 16 歳未満の人、妊娠している人は作業しないでください。 正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。</li><li>■ 生理中や産後 1 年を経過していない女性、負傷中などの人は作業しないでください。 薬剤による影響を受け、薬害に至るおそれがあります。</li></ul>
	<p><b>使用環境に関する注意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 降雨時や落雷のおそれがあるとき、夜間など見通しが悪いときは作業しないでください。 感電、被雷、転倒、転落など事故や重傷に至るおそれがあります。</li><li>■ 足元が滑りやすい場所、急傾斜地では作業しないでください。 転倒して事故やけがに至るおそれがあります。</li><li>■ ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など、足元が不安定な場所では作業しないでください。 転倒や転落などによりけがに至るおそれがあります。</li></ul>

# ! 警告



- 本製品は子供の手の届く場所に保管しないでください。
  - 本製品は子供に使用させないでください。  
不用意な取り扱いによる事故やけがの原因になります。
  - 本製品の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。  
製品が破損するだけでなく、思わぬけがに繋がる場合があります。
  - 無理な体勢での作業はしないでください。  
思わぬけがに至るおそれがあります。
- 
- 薬剤は飲み物や食べ物の容器、ペットボトルなどには移し替えないでください。
  - 薬剤は人や動物がいる空間には散布しないでください。  
薬害に至るおそれがあります。



- 作業はできるだけ平坦な場所で周囲を片付けてから行ってください。  
製品が破損するだけでなく、思わぬけがに至るおそれがあります。
- 必要に応じて対象物の周りをシートなどで覆い、建物などへの飛沫を防止してください。  
薬液、泥、砂などの跳ね返りで思わぬ事故に至るおそれがあります。

### 本製品を他人に貸すとき

- 本製品を他人に貸す場合は取扱方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。  
正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。



- ホースの接続は、パッキンまたはOリングがあることを確認して、確実に取り付けてください。  
ホースが外れたり、水漏れによる薬害、エアの吸い込みによる吸水不良に至るおそれがあります。
- 本製品の設置場所および作業場所には、関係者以外立入禁止にしてください。  
子供や動物を近付けると薬害や事故の原因となります。
- 高所作業の場合は、命綱を着用してください。  
転倒や転落などによりけがや事故に至るおそれがあります。
- 薬剤の取り扱いに注意してください。万一目や口に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。  
そのまま放置すると、失明や重傷に至ることがあります。
- 水道、河川、池、沼などを汚染しないよう十分に注意してください。  
環境汚染などを引き起こし思わぬ事故に至るおそれがあります。
- 製品は大事に扱ってください。  
誤って落としたり、ぶつけたりしますと変形や亀裂、破損を生じる場合がありますので十分注意してください。

### 作業着、保護具について



- 身体を露出しないように、防水性保護衣、帽子、耳栓、保護メガネ、保護マスク、防水性保護手袋、作業靴の保護具を必ず装着してください。  
保護具が不適切な場合、薬剤が身体に付着し薬害をおこしたり、高圧水や飛散物でけがに至るおそれがあります。

# ! 警告



- 薬剤のラベル、取扱説明書をよく読み、必ず記載されている内容を確認してください。
- 薬剤の知識を十分に持った人が薬剤を取り扱ってください。
- 薬剤の使用中に体に異常を感じたときは、作業を中止し、直ちに医師の診察を受けてください。
- 薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは容器が破損しないように気をつけてください。守らないと、薬害に至るおそれがあります。
- 風向きを考慮して、周辺の他の作物や畜舎、養魚池、水源地、河川、湖沼、住宅、通行人に飛散させないように散布してください。薬剤の飛散により、薬害に至るおそれがあります。
- 風上から風下に向かって作業してください。風下から作業すると作業者が薬剤を浴びて、薬害に至るおそれがあります。
- 作業が終わったら、全身をよく洗ってください。目をきれいな水で洗い、うがいをしてください。身体に薬剤が付着していると、薬害に至るおそれがあります。
- 作業に使用した作業衣は、他の洗濯物に薬剤が付かないよう分けて洗濯してください。一緒に洗濯してしまうと、薬剤がほかの洗濯物に付き、薬害に至るおそれがあります。

# ! 注意



## 泥水使用禁止

- 泥や砂が含まれる水は使用しないでください。故障の原因になります。水道水を使用してください。
- ホースの接続部分のオネジに素手で触らないでください。けがをするおそれがあります。接続時は保護手袋を着用してください。

- 5 ~ 40℃の水を使用してください。高温水の使用は故障の原因となります。
- ホースは、まっすぐに伸ばしてから使用してください。ホースが折れて破損のおそれがあります。

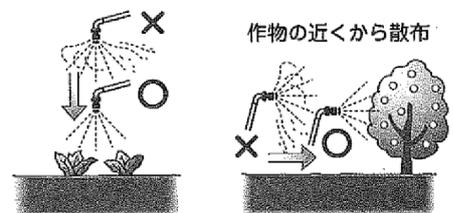
- 使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで、用法、用量、使用上の注意を守って正しくご使用ください。濃度や散布量、薬剤の種類を間違えると、作物が薬害に至るおそれがあります。また本製品の消耗を早めます。

## 下記の項目を必ず守って、散布作業をしてください。

誤った散布作業を行うと薬剤がドリフトし、周辺作物や周辺住民などが薬害に至るおそれがあります。



- 風の弱い時に散布してください。
- 散布の位置や方向に注意してください。
- 適正なノズルを使い、適正な圧力で散布してください。
- 適正な量を散布してください。
- 園地の端部での散布作業は特に注意してください。
- 散布しようとする作物以外に、農薬がドリフトしないように細心の注意を払って散布してください。



## 始業点検の重要性

- 作業の前に始業点検を行ってください。作業前に点検を行い、処置することにより故障や事故を未然に防ぐことができます。詳細は12ページの「4. 始業点検(作業前点検)」を参照してください。

# 警告ラベルの取り扱い

## ⚠ 注意

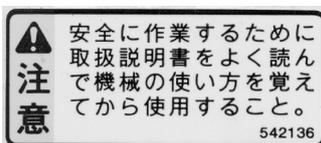
下記の項目を守ってください。

本製品の正しい使用方法を確認できず、けがに至るおそれがあります。

- 警告ラベル表面の汚れや泥をとり、いつも表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しいラベルを同じ位置に貼り替えてください。  
※ 新しいラベルについては、ご購入の販売店に部品番号で注文してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、その部品にも必ず新しい警告ラベルを同じ場所に貼ってください。

※ 本製品には、下の図に示す位置に下記の警告ラベルが貼ってあります。

本製品のご使用前に 1 ページの「■ シンボルマークについて」を参照し、その意味を理解した上で、下記ラベルの表示内容を守って作業してください。また型式名、製造番号は、アフターサービスを受けるときに必要です。ご確認の上、裏表紙にメモしてください。



警告ラベル  
(部品番号 : 542136)



# 目次

<b>▲安全に作業するために</b> .....	<b>1</b>
<b>警告ラベルの取り扱い</b> .....	<b>5</b>
<b>1. 梱包品と各部のなまえ</b> .....	<b>7</b>
(1) 梱包品の確認 .....	7
(2) 各部のなまえ .....	7
(3) 各部の働き .....	7
<b>2. 組み立て</b> .....	<b>8</b>
(1) ハンドルの組み立て .....	8
(2) 中間ホースの接続 .....	8
<b>3. 作業の準備</b> .....	<b>9</b>
(1) 作業者の服装と保護具の装着 .....	9
(2) 運搬の仕方 .....	9
(3) 作業現場の整備 .....	10
(4) 作業計画 .....	10
(5) 設置 .....	10
(6) ホース、ノズルの接続 .....	10
<b>4. 始業点検(作業前点検)</b> .....	<b>12</b>
<b>5. 運転の仕方</b> .....	<b>13</b>
(1) 始動の前に .....	13
(2) 給水 .....	13
(3) 始動 .....	13
(4) 停止 .....	14
<b>6. 薬剤の準備</b> .....	<b>14</b>
<b>7. 散布作業</b> .....	<b>16</b>
(1) 散布作業 .....	16
(2) 散布作業後 .....	17
<b>8. 点検・整備</b> .....	<b>19</b>
(1) 定期点検 .....	19
(2) 整備 .....	19
<b>9. 長期保管</b> .....	<b>20</b>
<b>10. 故障と対策</b> .....	<b>21</b>
(1) 吸水しないとき .....	21
(2) 圧力が上がらないとき .....	21
(3) その他の異常のとき .....	21
<b>11. 転売・譲渡・廃棄</b> .....	<b>21</b>
<b>12. 主要諸元</b> .....	<b>21</b>

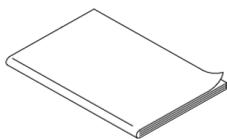
# 1. 梱包品と各部のなまえ

## (1) 梱包品の確認

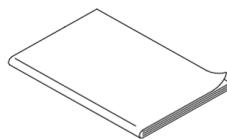
開梱時に下図を参照して部品が揃っているか、破損や変形はないかを確認してください。問題がある場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。



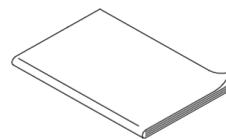
中間ホース



クイックスタート  
マニュアル



安全マニュアル



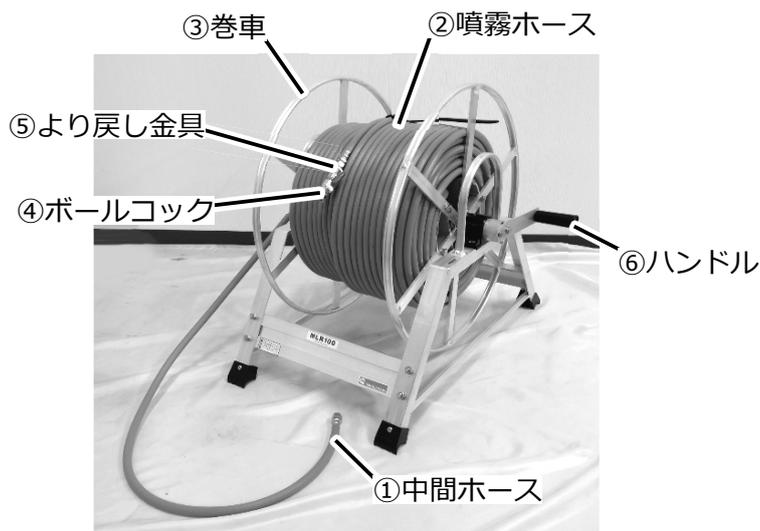
保証書

### ■ 付属品リスト

部品番号	名称	備考	数量
549306	中間ホース	8.5X1.2m	1
837313	クイックスタートマニュアル		1
837314	安全マニュアル		1
-	保証書		1

## (2) 各部のなまえ

各部の詳細については7ページの「(3) 各部の働き」及び以下記載のページ数を参照してください。



## (3) 各部の働き

- ① 中間ホース  
標準付属品の中間ホースです。本製品に取り付けて使用ください。  
(組立方法は8ページの「(2) 中間ホースの接続」を参照ください。)
- ② 噴霧ホース  
加圧された液体をノズルへ送るホースです。
- ③ 巻車  
噴霧ホースを巻取る為の巻車です。
- ④ ボールコック  
ボールコックを噴霧ホースに対して水平方向にするとノズルへ液体が送られ、垂直方向にすると停止します。
- ⑤ より戻し金具  
噴霧ホースのより、ねじれを防止する部品です。
- ⑥ ハンドル  
巻車を操作する為のハンドルです。

## 2. 組み立て

### 警告



- 本項に記載の内容を十分理解したうえで、正しく組み立ててください。  
組み立てを誤ると事故や重傷に至るおそれがあります。

### 注意



- ボルトやホースの締め付けは確実に行ってください。  
締め付けが緩いと事故やけがに至るおそれがあります。

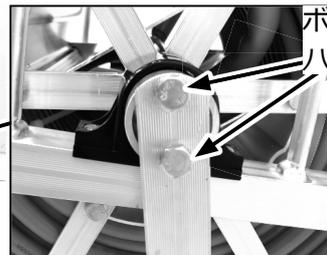


- ボルトやホースの締め付けをする際、強く締め過ぎないでください。  
無理に締め付けるとネジ部が破損するおそれがあります。

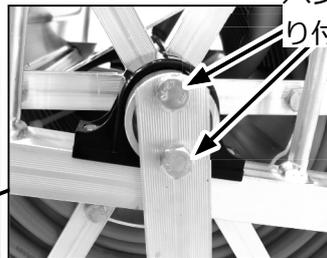
### (1) ハンドルの組み立て

初回開封時や長期保管後など、ハンドルが内向きに取り付けてある場合は、ハンドルを固定しているボルトを外し、外向きにしてから再び取り付けてください。

※ボルトはスパナなどの工具で緩まないように締め付けてください



ボルトを反時計回りに回して、  
ハンドルを取り外す。

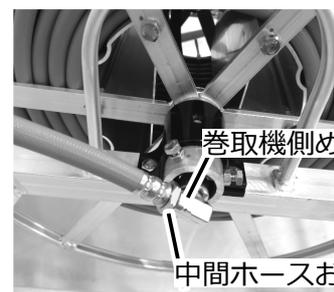


ハンドルを外向きにして、ボルトを取  
り付ける (時計回りに回す)。

### (2) 中間ホースの接続

初回開封時や長期保管後など、中間ホースを巻取機から外している場合は取り付けてください。

※スパナなどの工具で緩まないように締め付けてください。



### 3. 作業の準備

#### 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 無用な人は作業の現場に近づけないでください。 事故やけがに至るおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 取扱説明書をよく読んで、本製品の操作に慣れて正しい安全作業を行ってください。 正しい安全作業を行わないと、事故やけがに至るおそれがあります。</li><li>■ 本製品に使用する部品は必ず、19 ページの「■ 消耗部品リスト」及び 21 ページの「12. 主要諸元」を参照頂き、本製品の規格に対応した純正部品をお買い求めください。 間違った規格の部品を使用すると、事故やけがに至るおそれがあります。また、本製品の故障の原因となります。規格の選定でご不明な点がありましたら、ご購入の販売店にお問い合わせください。</li></ul>

#### お願い

- 事故やけがに備え救急箱や止血道具（タオルなど）を携行してください。応急処置が行えず、傷が悪化するおそれがあります。なお、最寄りの消防本部・消防署で実施している救命講習の講習会に参加して、応急手当の知識と技術を身に付けておくことを推奨いたします。
- 万一の事故に備えて緊急時に連絡できるようにしてください。また、家族などにも緊急連絡先（医療機関・消防署など）がわかるようにしてください。携帯電話などの緊急時の連絡手段の携帯を推奨いたします。
- 機体を長時間、野外に放置しないでください。

#### (1) 作業者の服装と保護具の装着

作業に適した服装をして必要な保護具を装着してください。詳細は 3 ページの「作業着、保護具について」を参照してください。

#### 警告

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 体を露出しないように、防水性保護衣や保護具などを必ず装着してください。 体が露出していると薬剤が体に付着し、薬害に至るおそれがあります。</li></ul>
---	--

#### (2) 運搬の仕方

本製品を作業場所まで運ぶときは、下記の注意事項を守ってください。

#### 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品を持ち上げるときは、無理に一人で持ち上げたり、無理な姿勢で持たないでください。 本製品は重量物です。腰を痛めたり、機械落下によるけがに至るおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品を持ち上げるときは、しっかり持ってください。</li><li>■ 自動車などで運搬するときは、本製品が転倒しないように固定してください。 機械転倒により本製品の損傷、けがに至るおそれがあります。</li></ul>

### (3) 作業現場の整備

作業現場に障害物がある場合は事前に取り除いてください。

 <b>注 意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 作業現場に障害物がないことを、作業前に十分に確かめてください。 障害物の近くで作業をすると、転倒してけがに至るおそれがあります。</li></ul>

#### お願い

- 必要に応じて対象物の周りをシートで覆い、建物等への飛沫を防止してください。

### (4) 作業計画

作業を行う前にあらかじめ作業場所、作業手順、緊急時の対応などを決めた作業計画を立ててください。

### (5) 設置

本製品を運搬、設置するときは、下記の注意事項を守ってください。

 <b>危 険</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 定置配管に接続し、無人運転を行わないでください。 守らないと火災や事故に至ります。</li></ul>

 <b>注 意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品を設置した周りには物を置かないでください。 操作部は、無理のない姿勢で見えるようにし、操作できるようにしてください。</li><li>■ 設置時に衝撃を与えないでください。 損傷するおそれがあります。</li></ul>
	<p>下記の項目を必ず守ってください。 守らないと事故やけが、故障に至るおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品は、対象物と十分に離し、作業中に水や飛沫がかからない水平で平坦な場所に設置してください。</li><li>■ 衝撃・落下物がなく、本製品が転落することのない安全な場所に設置してください。</li></ul>

### (6) ホース、ノズルの接続

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 21 ページの「12. 主要諸元」を確認の上、仕様範囲内の圧力の動力噴霧機に接続し、あわせて同主要諸元および動力噴霧機の仕様に基づき吐出圧力・吐出量に対応した規格のノズルを使用してください。 仕様圧力を超える使用や誤った規格のノズルを使用した場合、ホースの破裂や損傷、薬液を浴びることによる薬害、事故・けが、ならびに本製品の故障につながるおそれがあります。</li></ul>

## 警告



- **ホース、ノズルの取り付けは確実に行ってください。**  
接続が外れると思われ事故やけがの原因となります。
- **ホースやノズル接続部など、パッキンのある部分を組み立てる際は、パッキンに異常がなく、正しく付いていることを確認した上で、確実に締めてください。**  
パッキンが正しく付いていなかったり、傷や変形があると薬剤が漏れて薬害に至るおそれがあります。
- **ホースやノズル接続部など、パッキンのある部分を締付ける際は、強く締めすぎないでください。**  
締め付けが強すぎると、パッキンが破損して薬剤が漏れ、また弱すぎてもすき間から薬剤が漏れて、薬害に至るおそれがあります。

## 注意



- **ホースはまっすぐに伸ばしてから、確実に取り付けてください。**  
接続が不完全な場合や、ホースの折れ・つぶれは、吸水不良や異常な振動を生じる原因となり、機械の寿命を縮めるおそれがあります。
- **接続時は保護手袋を着用してください。**  
接続用のネジ部を素手で触るとけがをするおそれがあります。

- 1) 動力噴霧機に中間ホースを接続してください。
  - 2) 噴霧ホース先端のボールコックのオネジの中にあるパッキンに異常がないことを確認し、その先にノズルを取り付けてください。
- ※ノズルは本製品の標準付属品ではありません。



### お願い

- ノズルの選定でご不明な点がございましたら、ご購入の販売店にお問い合わせください。

## 4. 始業点検（作業前点検）

その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。作業前に点検を行うことにより、事故や故障を未然に防止することができます。非常に大切な点検のため、必ず実施してください。もし、ご自身での点検に不安のある方や交換・修理が必要な場合は、ご購入の販売店にご相談ください。

### 警告



- 始業点検一覧表に基づき点検を実施し、必要な場合は処置を施してください。  
必要な処置をしないと死亡または重傷に至るおそれがあります。

### 注意



- 始業点検は必ず動力噴霧機の動力源を停止した状態で行ってください。  
点検中に誤作動させ、事故やけがに至るおそれがあります。

#### 始業点検一覧表

点 検 項 目	点 検 内 容	処 置	参 照 先
中間ホース 噴霧ホース	ホースに汚れ、割れ、折れ、つぶれ、傷はないか	修理・交換	10 ページの「(6) ホース、ノズルの接続」
	ホースの接続金具のパッキンは正常か	修理・交換	
全体	ネジ部のゆるみ	増し締め	
	水漏れ跡はないか	修理	
	各部に汚れはないか	清掃	

#### お願い

- 本製品に接続する動力噴霧機の点検については、動力噴霧機の取扱説明書に従ってください。

## 5. 運転の仕方

### (1) 始動の前に

※ 必ず点検・修理を行ってから使用してください。点検・修理は販売店にお願いしてください。

#### 1) 運転時・作業時の注意

 <b>注 意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>本製品を倒したり、ぶつけたりしないでください。</b> 本製品が故障に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>ホースを折り曲げたり、偏った方向に引いたり、ホースで製品を引っ張ることはしないでください。</b> ホースの破裂による事故やけがの原因となります。</li><li>■ <b>無理な体勢での作業はしないでください。</b> 思わぬけがに至るおそれがあります。</li><li>■ <b>海水の飛沫がかかるような場所や塩分の多い環境下で使用しないでください。</b> 部品の錆・劣化などにより故障に至るおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>作業中に水漏れやホースからの振動を感じたら直ちに使用を中止してください。</b> 思わぬ事故や故障の原因となります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。</b> 整備不良のまま作業を続けると、けがや本製品の損傷に至るおそれがあります。</li></ul>

### (2) 給水

動力噴霧機の取扱説明書を参照し、タンクに必要な量の水を入れてください。

※ 必要なタンクの容量や注意事項はご使用の動力噴霧機によって異なります。

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>飲料水源および生物を飼育している湖沼からの直接給水は、絶対に行わないでください。</b> 飲料水源を汚染すると法律により、罰せられることがあります。</li></ul>

 <b>注 意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>泥や砂等が混入している水、温度が 40℃を超える水は使用しないでください。</b> 本製品が故障、劣化するおそれがあります。</li></ul>

### (3) 始動

 <b>危 険</b>	
	<p>下記の項目を必ず守ってください。 守らないと火災や感電、事故に至ります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>動力噴霧機を起動したまま無人状態で運転（例：電源タイマーの使用等）は絶対におやめください。</b></li><li>■ <b>本製品から離れる場合は、動力噴霧機の動力源を停止してください。</b></li></ul>

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>始動する前に、周囲を良く見渡し、本製品の近くに人、特に小さな子供やペットがいないことを確認してください。</b> 本製品が急に動き出し、人身事故や傷害事故に至るおそれがあります。</li></ul>

## ⚠ 注意



- 噴霧ホースは全て引き出してから使用してください。  
動力噴霧機を始動すると、水圧により、噴霧ホースは膨張します。  
巻車に巻いたまま使用すると、ホースの膨張により巻車が破損するおそれがあります。
- 噴霧ホースの引き出しはゆっくりと行ってください。  
守らないと破損や故障に至るおそれがあります。
- 噴霧ホース引き出しの際、回転部に手や指を挟みこまないように注意してください。  
事故やけがに至るおそれがあります。

- ① 噴霧ホースを巻車から全て引き出してください。
- ② 動力噴霧機の取扱説明書に従い、動力噴霧機を始動してください。

### (4) 停止

動力噴霧機の取扱説明書に従い、動力噴霧機を停止してください。

## 6. 薬剤の準備

## ⚠ 警告



- 薬剤は飲み物や食べ物の容器、ペットボトルなどには移し替えないでください。  
誤って飲み込むと薬害に至るおそれがあります。



- 下記の項目を必ず守ってください。  
薬剤を誤って使用すると、薬害に至るおそれがあります。
- 薬剤のラベル、取扱説明書をよく読み、必ず記載されている内容を確認してください。
  - 薬剤の知識を十分に持った人が薬剤を取り扱ってください。
  - 人や動物がいる空間には散布しないでください。
- 薬剤は余らないよう、散布計画を立ててから作成してください。  
余った薬剤をみだりに廃棄すると、法令違反に至るおそれがあります。
  - 薬剤を取り扱う際は、保護具(保護メガネ、保護マスク、防水性保護手袋など)を使用し、十分に注意してください。万一目や口に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。  
そのまま放置すると、失明や重傷に至るおそれがあります。また、かぶれなどを引き起こすおそれがあります。
  - 薬剤の使用中に体に異常を感じたときは、作業を中止し、直ちに医師の診察を受けてください。  
そのまま放置すると、薬害に至るおそれがあります。
  - 薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは容器が破損しないように気をつけてください。  
薬剤が漏れ出すと薬害に至るおそれがあります。
  - 薬剤は、幼児の手の届かないカギのかかる専用の場所に保管してください。  
幼児が触ると、薬害に至るおそれがあります。
  - 薬剤を調合する前に清水にて運転し、異常のない事を確認してください。  
守らないと、薬害や事故に至るおそれがあります。

## ⚠ 注意



- 使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで、用法、用量、使用上の注意を守って正しくご使用ください。  
濃度や散布量、薬剤の種類を間違えると、作物が薬害に至るおそれがあります。また本製品の消耗を早めます。
- 薬剤、水はゴミが混じらないように、必ずストレーナを通してタンクに入れてください。  
異物が入ると故障に至るおそれがあります。

## お願い

- 農薬取締法に基づく「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令」により、農薬使用者は下記を遵守する義務があります。
  - 1) 農作物や人畜などに害を及ぼさないようにする。
  - 2) 周辺水域への汚染のないようにする。
  - 3) 農薬ラベル記載事項（適用作物、希釈倍率、使用回数、収穫前日数）を遵守する。
  - 4) 住宅地などでの農薬の飛散を防止する。
  - 5) 使用した農薬の情報（年月日、場所、農作物、農薬の種類、単位面積当たりの使用量または希釈倍率）を記録する。
- ※ 詳細については農林水産省ホームページの「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令」を参照してください。
- 散布計画を立て、薬剤は余らないように作ってください。
- 有機溶剤を含む薬剤のご使用はお控えください。有機溶剤はパッキン、ホース類を傷めやすい薬剤です。やむを得ずご使用される場合は、使用后すぐに必ず清水で十分に洗浄してください。パッキン、ホース類が損傷します。
- 展着剤を使用する場合は、展着剤のラベルに記載されている内容に従って使用してください。
- フロアブル剤の中には、原液で使用すると、パッキン・シール部を痛め、液漏れにつながる場合があります。ご注意ください。

- ① 薬剤調合用に、バケツなどの容器を準備してください。
  - ② 防水性の保護手袋と保護マスクを装着してください。
  - ③ 容器で必要なだけ薬剤を調合してください。
- ※ 薬剤は余らないように作ってください。  
水和剤を使用する際は、少量の水でよく溶いてください。
- ④ 薬剤を外部に漏らさないようにタンクに入れ、十分かくはんしてください。

# 7. 散布作業

## (1) 散布作業

散布作業をするときは、下記の注意事項を守ってください。

### 警告

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>ノズル先端をつかんで作業をしないでください。</b> ノズルからの噴射流が手に当たり、けがの原因となります。</li><li>■ <b>噴流の中に自分の体を入れしないでください。</b></li><li>■ <b>ノズルの先端をのぞき込まないでください。</b></li><li>■ <b>薬剤を散布した直後の場所へ入らないでください。</b> 散布後の薬剤の蒸気を吸い込み、薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>作業中の喫煙・飲食はしないでください。</b> タバコや手についた薬剤が口から入り、薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>作業に関係のない人は、散布作業の現場に近づけないでください。</b> 薬剤がかかると薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>人や動物に噴霧しないでください。</b> 薬剤がかかると薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>人や動物にノズルを向けしないでください。</b> 噴射停止であっても、残圧を抜かないと噴霧ホース内には高圧状態で水が封入されている為、不意の操作で高圧水を噴射し、けがや薬害に至るおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>薬剤の取り扱いに注意してください。万一目や口に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。</b> そのまま放置すると、失明や重傷に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>頭痛やめまいを感じたり、気分が悪くなったときは、すぐに作業を中止して医師の診察を受けてください。</b> 薬害により事故や重傷に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>薬剤はタンクに残らないように散布してください。</b> 残ったままで保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって、薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>散布作業は朝夕の涼しい時間帯に行ってください。</b> 気温の高い時間帯は散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ、薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>風向きを考慮して、周辺の他の作物や畜舎、養魚池、水源地、河川、湖沼、住宅、通行人に飛散させないように散布してください。</b> 薬剤の飛散により、薬害に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>風上から風下に向かって作業してください。</b> 風下から作業すると作業者が薬剤を浴びて、薬害に至るおそれがあります。</li></ul>

### 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>ホースを足や車で踏まないでください。</b> 損傷に至るおそれがあります。</li><li>■ <b>ホースを継いで使用しないでください。</b> 本製品が故障に至るおそれがあります。</li></ul>
---	---

## ⚠ 注意

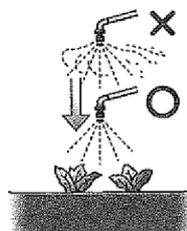
- **ブロックやレンガ、壁やフェンスなどの角でホースが擦れたり、折れ曲がったりしないように注意してください。**  
損傷に至るおそれがあります。
- **作業中は異常音、異常振動、液漏れに注意し対処してください。**  
事故や高圧水を被爆するおそれがあります。
- **ホースを折り曲げたり、偏った方向に引いたり、ホースで本製品を引かないでください。**  
損傷のおそれがあります。
- **保護メガネと保護マスクは必ず着用してください。**  
薬害に至るおそれがあります。
- **不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。**  
整備不良のまま作業を続けるとけが、本製品の損傷に至るおそれがあります。



下記の項目を必ず守って、散布作業をしてください。

誤った散布作業を行うと薬剤がドリフトし、周辺作物や周辺住民などが薬害に至るおそれがあります。

- **風の弱い時に散布してください。**
- **散布の位置や方向に注意してください。**
- **適正なノズルを使い、適正な圧力で散布してください。**
- **適正な量を散布してください。**
- **園地の端部での散布作業は特に注意してください。**
- **散布しようとする作物以外に、農薬がドリフトしないように細心の注意を払って散布してください。**



お願い

- 作業中は異常音、液漏れなどに注意し、もし異常があった場合は運転を中止し、対処してください。

## (2) 散布作業後

## ⚠ 警告

- **清掃作業は必ず動力噴霧機の動力源を停止してから行ってください。**  
動力噴霧機が動いていると薬剤が出て、薬害に至るおそれがあります。
- **損傷個所がある場合は、修理してから保管してください。**  
損傷個所があると、事故に至るおそれがあります。
- **作業が終わったら、全身をよく洗ってください。目をきれいな水で洗い、うがいをしてください。**  
身体に薬剤が付着していると、薬害に至るおそれがあります。
- **作業後は使用した保護具を十分に清掃してください。**  
保護具に薬剤が付いていると、次の作業時に薬害に至るおそれがあります。
- **作業に使用した作業衣は、他の洗濯物に薬剤が付かないよう分けて洗濯してください。**  
一緒に洗濯してしまうと、薬剤がほかの洗濯物に付き、薬害に至るおそれがあります。
- **本製品の内部に付着した薬剤は洗い流してください。**  
薬剤が残った状態や付着した状態で保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって薬害に至るおそれがあります。また、本製品が故障に至るおそれがあります。



## ⚠ 注意

- **付着した薬剤はきれいに取り去ってください。**  
薬剤が付着していると、サビの発生や故障に至るおそれがあります。



## 1) 洗浄

- ① タンクに清水を入れて動力噴霧機を運転、ノズルより噴霧し、ホース、ノズル内の洗浄をします。
- ② ノズルから薬液が噴霧しなくなっても、内部洗浄の為、清水噴霧を2～3分続けてください。
- ③ 運転を停止します。

※運転、停止についてはご使用の動力噴霧機の取扱説明書を参照してください。

## 2) 水抜き

- ① タンク内から吸水ストレーナを引き上げます。
- ② 水抜き運転を行います。ノズル、ホースから水が出なくなるまで運転してください。
- ③ 噴霧しなくなったら、直ちに運転を停止します。

※空運転を一定時間以上行くと動力噴霧機の故障につながります。水抜き運転に関しては、動力噴霧機の取扱説明書を参照してください。

# ⚠ 注意



- 清掃後はホースの内部に水分を残さないように、水抜きを必ず行ってください。  
冬期は凍結による破損のおそれがあります。
- 機械についた水滴や泥はきれいに拭き取ってください。  
錆や故障のおそれがあります。
- 高温・高湿を避け風通しの良い屋内に保管してください。

## お願い

- ホースの内部に水が残っていると凍結やコケなどの異物発生の原因となります。内部に残った水をエアブローなどで完全に排出してから保管してください。

## 3) 取り外し・格納

- ① 動力噴霧機から中間ホースを取り外し、水を取除きます。
- ② 噴霧ホースからノズルを取り外し、水を取除きます。
- ③ 噴霧ホースを巻車で巻き取ってください。
- ④ 接続部にゴミや砂が入らない様に注意して格納してください。

## お願い

- ホースを接続したままにするとパッキンを傷め、不具合の原因となりますので必ず作業後には取り外してください。
- 損傷個所のある場合は、修理してから格納してください。  
この場合、部品、消耗部品は全て当社指定の純正部品をご使用ください。
- 直射日光を避け、湿気やほこりの少ない屋内に保管してください。  
冬季は凍結にも注意してください。

## 4) 作業終了後

- ① 薬剤を保管庫に戻し、鍵をかけて保管してください。また、農薬使用日誌をつけてください。
- ② 保護具や使用した容器を洗浄してください。
- ③ 衣類を脱ぎ、全身を洗ってください。

## 8. 点検・整備



### 警告



- 動力噴霧機を運転しないとできない点検、調整、修理は絶対に行わないでください。事故に至るおそれがあります。ご購入の販売店に依頼してください。



- 取扱説明書に記載されていない整備・調整は、ご購入の販売店に依頼してください。正しい整備ができず、事故に至るおそれがあります。
- 点検、整備などで外したカバーは、全て正しく取り付けてください。正しく取り付いていないと、巻き込まれたりして事故に至るおそれがあります。
- 点検・整備は、水平な明るい場所で行ってください。

#### お願い

- 本製品を安全にご使用いただき、また長持ちさせるために定期的に点検を行ってください。
- 安全にご使用いただくために年に1回、ご購入の販売店にて点検を行ってください。
- 点検で不具合がある、不調の場合は整備を行い正常な状態になってから使用してください。
- 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。
- ご自身での点検に不安のある方は、ご購入の販売店にご相談ください。
- 本製品に接続する動力噴霧機の点検については、動力噴霧機の取扱説明書に従ってください。

### (1) 定期点検

下記の使用時間を目安に定期的に点検を実施してください。

点検項目	点検のタイミング
ホースの傷や割れの点検	(毎日)8時間
水漏れの点検	
各部の清掃および締め付け点検	

#### ■ 消耗部品リスト

使用部位	名称	部品番号	規格
噴霧ホース	噴霧ホースマトメ	827756	8.5X100m
	より戻し金具	814042	
	ボールコック	105891	
中間ホース	噴霧ホースマトメ	549306	8.5X1.2m

### (2) 整備

ホースに割れ、傷などがいないか点検し、損傷があったら交換してください。

## 9. 長期保管

- 本製品を長期間(1カ月以上)保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。

本製品の汚れを落とし、19ページの「8. 点検・整備」を行ってから保管してください。なお、損傷箇所がある場合は、全て当社指定の純正部品を使用して、必ず修理してから保管してください。

### 注意



- **本製品やホースの内部に水分を残さないように、水抜きを必ず行ってください。**  
凍結や湿気による故障に至るおそれがあります。
- **本製品は室内で保管してください。直射日光が当たる場所には保管しないでください。**  
凍結により故障に至るおそれがあります。また、紫外線により部品が劣化するおそれがあります。
- **シート等かける場合は本製品が乾いてから行ってください。**  
濡れたままシート等かけると腐食の原因となります。

### お願い

- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。
- 取り外した付属品や小さな部品をなくさないよう、大切に保管してください。

### ■ 格納について

- ① ポンプ、ホース内の水を確実に抜いてください。(18ページの「2)水抜き」を参照してください。)
- ② 動力噴霧機から中間ホースを取り外し、水を取除きます。
- ③ 噴霧ホースからノズルを取り外し、水を取除きます。
- ④ 本製品とホースの外面をきれいにし、よく乾かします。
- ⑤ 噴霧ホースを巻車で巻き取ってください。
- ⑥ 本製品を箱などに入れ、直射日光の当たらない湿気の少ない風通しのよい場所に保管してください。

## 10. 故障と対策

### (1) 吸水しないとき

故障内容	故障原因	対策
吸水しない	タンクに水がない	水を入れる

### (2) 圧力が上がらないとき

故障内容	故障原因	対策
吸水するが 圧力が上がらない	ノズル穴の摩耗	交換
	純正以外のノズルを使用している	純正ノズルを使用する

### (3) その他の異常のとき

故障内容	故障原因	対策
水漏れ	ホースからの水漏れ	修正

#### お願い

- ご使用の動力噴霧機の取扱説明書も合わせて確認ください。
- 上記についてお調べの上で、故障が直らないときは、ご購入の販売店にご相談ください。

## 11. 転売・譲渡・廃棄

### 転売・譲渡

- 本製品を転売・譲渡する場合は、取扱説明書も同時に譲渡してください。取扱方法についてよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。
- 転売先や譲渡者に、製品の状況を説明してください。部品が不足している場合や修理が必要な場合は、修理をするように指導してください。
- 保証書も同時に譲渡してください（保証期間内の場合）。

### 廃棄

- お住まいの地域の自治体の指導に従ってください。

## 12. 主要諸元

型 式 名	MLR100L		
本 体	寸 法	全 長 (mm)	650
		全 幅 (mm)	570
		全 高 (mm)	550
		乾 燥 質 量 (kg)	15.5
最 高 使 用 圧 力 (MPa)			5.0
巻 取 り 方 式			手 動 巻 取 り
噴 霧 ホ ー ス			Φ 8.5 × 100m
中 間 ホ ー ス			Φ 8.5 × 1.2m

- 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

# MEMO

# MEMO

# MEMO

## サービスと保証について

### ■ 保証書について

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。所定事項が漏れなく記入されているか確認し、お読みになられた後は大切に保管してください。

本製品を改造した場合や取扱説明書に記載の正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意ください。

### ■ アフターサービスについて

○ 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、直ちに適切な整備をしてください。または、ご購入の販売店にご連絡ください。

○ 連絡していただく内容

- 型式名
- 製造番号
- 故障内容 なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。

○ 本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、ご購入の販売店に点検整備を依頼してください。このときの整備は有料となります。



製造番号ラベル

### ■ 補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、製品の製造打ち切り後9年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



しっかり点検！安心・長持ち！  
未永くお使いいただくためにも  
定期的な点検・整備をお勧めします。

詳しくはお求めいただいた販売店までお気軽にご相談ください。



本製品に関するお問い合わせなどは、ご購入の販売店にご相談ください。または、下記の全国共通の無料通話あるいは丸山製作所ホームページでもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120 - 898 - 114

丸山サポートセンターホームページ

<http://www.maruyama.co.jp/support/>



受付時間 9:00 ~ 17:00(土、日、祝日を除く)

本製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ① 型式名、製造番号
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名

修理依頼、補修用部品・オプションのご注文は、  
ご購入の販売店または取扱店へ依頼してください。



株式会社丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒101-0047

P/N. 836822-01 2026.2